

信州大学医学部附属病院 小児科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026年3月3日

「組織学的評価スコアを用いた潰瘍性大腸炎における治療有効性の予測因子」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6311
研究課題名	組織学的評価スコアを用いた潰瘍性大腸炎における治療有効性の予測因子
所属(診療科等)	小児医学教室
研究責任者(職名)	古屋 絢子(医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	潰瘍性大腸炎の小児患者における、治療有効性の予測因子を後方視的に検討する
対象となる方	2010年6月1日から2024年8月31日の期間に当院小児科で潰瘍性大腸炎と診断された方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身長、体重、家族歴、既往歴、重症度、血液検査、内視鏡検査、病理組織検査の結果と治療内容/病理検体の利用
他機関への試料・情報の提供方法	病理組織検体を郵送により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、ステロイド薬または生物学的製剤による治療効果と病理学的所見との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	弘前大学(責任者:明本 由衣)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:古屋 絢子
問い合わせ先	氏名(所属・職名):古屋絢子(信州大学医学部附属病院小児科・医員) 電話:0263-37-2642

既存の検体(病理組織)、診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察

や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、弘前大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。